



新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年の干支は「辰」であります。辰は十二支の中で唯一空想上の生き物です。跳躍する姿から「飛躍」「向上」を象徴するものとして親しまれています。私達も新しいことに挑戦し、更なる飛躍・向上をしましょう。

今回の学校だよりは「新制服紹介」「今後の中学校部活動の在り方」についてお知らせします。

1. 新制服紹介

ルールメイキングプロジェクトメンバーが中心となり、制服の改定を行いました。その取り組み内容と新制服について紹介します。

1) 今までの制服の課題

- ・通気性が悪い
- ・暑い
- ・ブレザーが硬い、重い
- ・シャツの生地が薄い



機能性と価格に課題あり

(これらを解決して学校生活をより快適にしたい)

2) 制服改定までの流れ

- ①制服業者選定 ⇒ ②全校生徒・保護者・小学生へのアンケート ⇒ ③制服業者との検討会 ⇒ ④デザイン決定(ブレザー、スラックス、スカート) ⇒ ⑤オプション決定(エンブレム、ボタン)

3) 新制服紹介



- ①ブレザー
- ・機能性 : 軽量化、ストレッチ性
 - ・デザイン : 現在とほぼ変わらず
- ②スラックス
- ・機能性 : 現在とほぼ変わらず*
- ③スカート
- ・機能性 : 現在とほぼ変わらず*
- ④ポロシャツ
- ・学校指定品ではなく、推奨品としての扱い

在校生から募集



*: オプションで防水加工や裏地は可能。価格は高くなります。

4) 価格の低減

品物	改定前	改定後
ブレザー	25,000円	20,000円
スラックス	12,000円~13,000円	13,000円(夏用)、13,600円(冬用)
スカート	14,500円~15,500円	13,000円(夏用)、13,600円(冬用)
ポロシャツ(推奨品)	3,000円	3,600円

5) 今後について

- ・新1年生 : 新制服(おさがり利用による、現制服でも構いません)
- ・新2年生、新3年生 : 現制服

2. 今後の中学校部活動の在り方について

枚方市教育委員会が今後の中学校部活動の在り方について検討しています。その検討内容についてお知らせします。

1) 政策等の背景・目的及び効果

本市の実情に添った「ひらかたモデル」としての部活動の方針の改訂に向けて、枚方市中学校部活動の在り方懇話会や関係課で組織する庁内委員会において協議、検討を進めています。

2) 内容

懇話会のメンバーから本市の現状と課題について、意見を伺い、庁内委員会でも、「ひらかたモデル」作成や試行実施に向けての検討を行っています。

3) 「ひらかたモデル」策定に向けての4類型(たたき台)について

① 学校部活動【授業の延長的活動型】

① 統括団体によるクラブ運営型【柏市型・統括団体運営方式】

統括団体を立て、地域にすでにある団体の協力を得ながら運営していく形

〇〇中学校	〇〇中学校	〇〇中学校	〇〇中学校
バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等	バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等	バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等	バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等

拠点クラブA	拠点クラブB	拠点クラブC
軟式野球クラブ(男子) 剣道クラブ	軟式野球クラブ(女子) 女子サッカークラブ	ラグビークラブ

各クラブの拠点校を設置し、その学校で合同練習のイメージ

② 学校部活動・地域部活動 組み合わせ型【部活動指導員による拠点校運営方式】

地域の競技団体等や保護者などを部活動指導員(外部指導者)として運営する形

〇〇中学校	〇〇中学校	〇〇中学校	〇〇中学校
バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 軟式野球クラブ(男子) 剣道クラブ 等	バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 軟式野球クラブ(女子) 女子サッカークラブ 等	バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ ラグビークラブ 等	バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等

現在の楠西中のイメージ

〇〇中学校	〇〇中学校	〇〇中学校	〇〇中学校
バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等	バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等	バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等	バスケットボールクラブ サッカークラブ 陸上クラブ 吹奏楽クラブ 等

③ 自由体験型 地域部活動【大学生や保護者などによる運営方式】

大学との連携や保護者会などにより新たな受け皿を設置し運営する形

4) ロードマップ(案)

試行実施で運営主体や責任の所在を整理しながら課題を解決したうえで本格実施につなげる

